

令和7年度のテーマ

包括的相談支援の推進

開催実績及び内容

回数	日付	主な検討事項
第1回	6月16日	◆令和6年度の振り返りについて ◆令和7年度の検討内容について ◆職員意識調査の実施について
第2回	10月16日	◆職員意識調査の集計結果について ◆各課業務内容に関する研修会の検討について ◆包括的相談支援の推進に関する他自治体の取組について
第3回	11月13日	◆葛飾区生成AIに追加するナレッジについて ◆職員の包括的相談支援に対する意識付けのための取組について ◆職員のモチベーションを上げるための取組について

包括的相談支援の推進のための取組

(昨年度からの検討や職員意識調査等から見えた現状)

- 包括的相談支援について、できている人とできていない人がいる
- 若手や在籍年数の浅い職員は、意欲はあっても他分野の相談を受ける自信がない

(取組1) 包括的相談支援に対する職員の意識の醸成

- ✓ 職員で包括的相談支援に対する共通認識を持つために、作業部会員の意見を基に「包括的相談支援の心得」のポスターを作成した。（資料2-2参照）A3サイズのポスターを相談支援を担う課の執務室内に掲示し、A4サイズで印刷したものを相談業務を担当する職員に配付した。

回答の根拠となるマニュアル

(取組2) 職員のスキルアップによる対応の標準化

- ✓ 知識の補填による自信の向上を目的に「葛飾区生成AI」に必要なナレッジを追加投入し、各課で生成AIの活用を図った。（資料2-3参照）
- ✓ 『ありがとう』を伝えることで職員の自信やモチベーションの向上につなげるための取組を作業部会で検討し、「モチ活プロジェクト」の試行運用を開始した。（資料2-4参照）

(取組3) 区民に向けた包括的相談支援のPR

- ✓ まずは庁内で職員の意識醸成から取り組み、庁内の意識の醸成が進んだ段階で再度検討を行う。